

全国大会出場



佐伯さんは2年連続出場
鈴木さんは1年生ながら初の全国

1月9～10日に帯広市で行われた第51回北海道中学校スケート大会に佐伯紅葉さん(佐中3年)と鈴木世梨さん(佐中1年生)が出場し、上位24名に全国大会出場権が与えられる中、佐伯さんが500mで19位、1000mで23位、鈴木さんが500mで23位、1000mで24位入賞を果たし、見事全国大会出場を決めました。

この一年間、佐伯さんは、課題であった体力・筋力面を重点的に取り組み、鈴木さんは、中学進学でより高いレベルの中に身を置くことで大きく成長することができたそうです。日々指導をしている元オリンピック選手藤本氏(湧別町)は「佐伯さんは、高いスケーティング技術を身に付けている。自信をもって自分の滑りをし、上位入賞を目指してほしい。鈴木さんは、初めての全国大会だが、緊張に打ち勝ち、自己ベストを出すことができれば20位以内も見えてくる。お互い全力を尽くしてほしい」とエールを送りました。

新型コロナウイルス感染拡大により、残念ながら全国大会が中止となってしまうしたが、お二人の健闘を称えて、「全国大会出場」として掲載させていただきました。



全国大会に向けた抱負を聞かせてください！



佐伯 紅葉さん(佐中3年生)

『今年は予選が無く、いきなり決勝戦なので、一回の滑りで全力を出し切り、中学3年間の集大成として、満足のいく滑りをしたいです！』



鈴木 世梨さん(佐中1年生)

『初めての全国大会ですが、緊張に負けず、持てる力を出し切り、自己ベストタイムを出せるよう、頑張ります！』